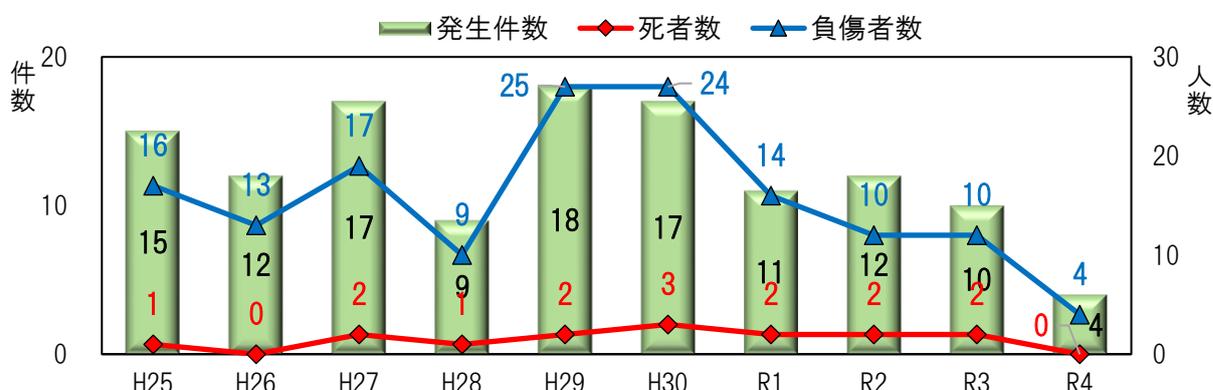


飲酒事故の分析結果

1 原付以上運転者（第1当事者）の過去10年間の飲酒人身事故発生状況（H25～R4）

(1) 発生状況の推移



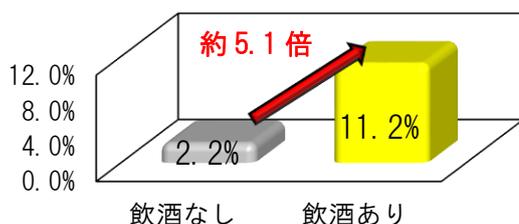
- 県内の飲酒人身事故は、過去10年間で125件発生し、同事故により、15人が死亡し、142人が負傷している。
- 平成30年以降、減少傾向で推移しているが、依然として飲酒運転による交通事故は発生している。

(2) 月別発生状況（H25～R4）



- 月別で見ると、3月が14件と最も多く、7月の13件と続く
- 死亡事故は、11月（3件）が最も多い。
- 7月から11月の間に57件（45.6%）発生、死亡事故が8件（57.1%）発生するなど、夏季から年末にかけて多発する傾向にある。

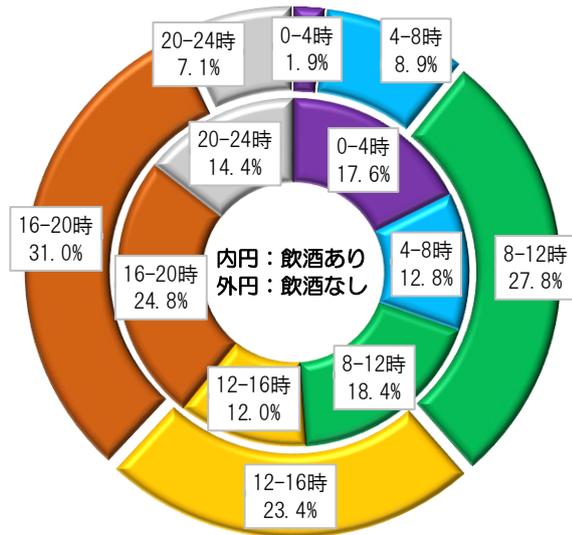
(3) 死亡事故率（H25～R4）



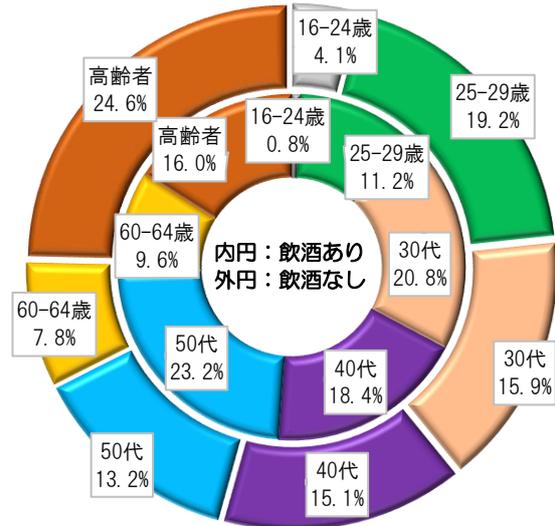
飲酒事故の死亡事故率 = (死亡事故件数 ÷ 事故件数)

- 「飲酒あり」は11.2%（全事故125件中死亡事故14件）、「飲酒なし」は約2.2%（全事故8,684件中死亡事故が193件）と「飲酒あり」が「飲酒なし」の約5.1倍であった。

(4) 時間別発生件数

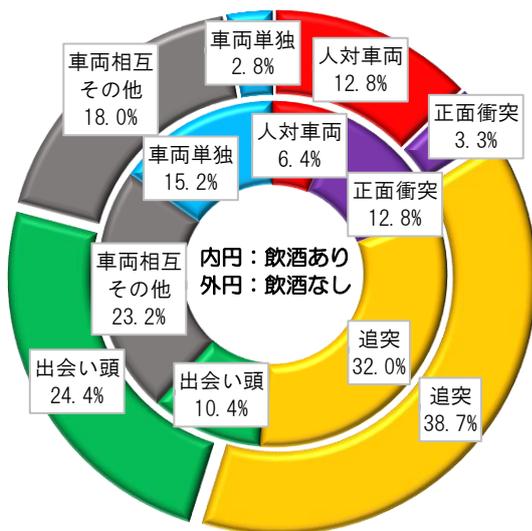


(5) 運転者の年齢別発生件数

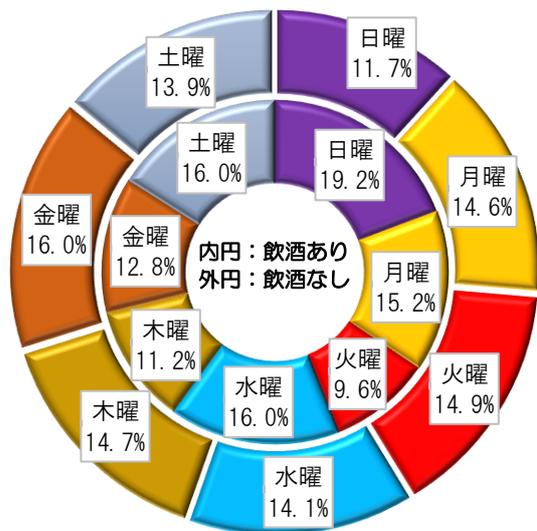


- 時間別では、16～20時が全体の24.8%と最も割合が高い。
- 0～4時は17.6%で「飲酒なし」の約9.3倍
- 運転者の年齢層別では、50代が23.2%と最も割合が高く、「飲酒なし」の50代の約1.8倍

(6) 事故類型別発生件数



(7) 曜日別発生件数



- 事故類型別では、追突が全体の32.0%と最も割合が高い。
- 単独事故は「飲酒なし」の約5.4倍、正面衝突は「飲酒なし」の約3.9倍
- 曜日別では、日曜日が19.2%と最も高く、「飲酒なし」の約1.6倍

※ 資料は、原付以上運転者（第1当事者）のデータを元に作成。

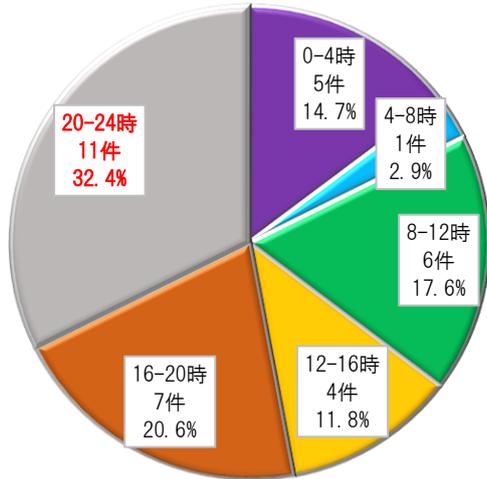
2 令和5年9月末現在の飲酒事故の発生状況（人身事故と物損事故の合計（速報値））

(1) 月別発生件数（人身事故7件（+3件）、物損事故27件（-6件））

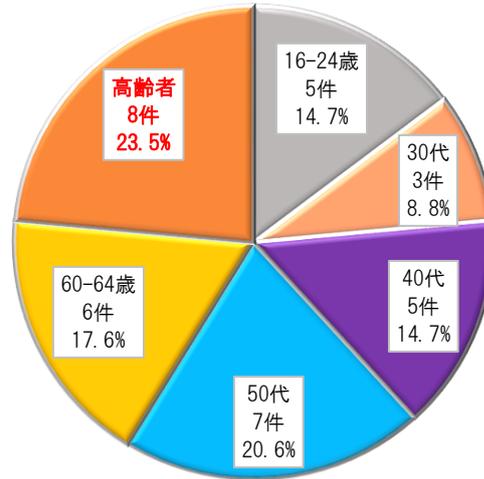


- 本年9月末現在、飲酒事故は34件発生、前年9月末の37件から**3件減少**
- 月別では、2月から5月は毎月5件以上発生するなど多発したが、6月以降9月にかけて減少傾向で推移している。

(2) 時間別発生件数



(3) 運転者の年齢別発生件数



- 時間別では、20～24時が11件（32.4%）と最も多く、16～20時が7件（20.6%）
- 運転者の年齢別では、高齢者が8件（23.5%）と最も多く、50代が7件（20.6%）